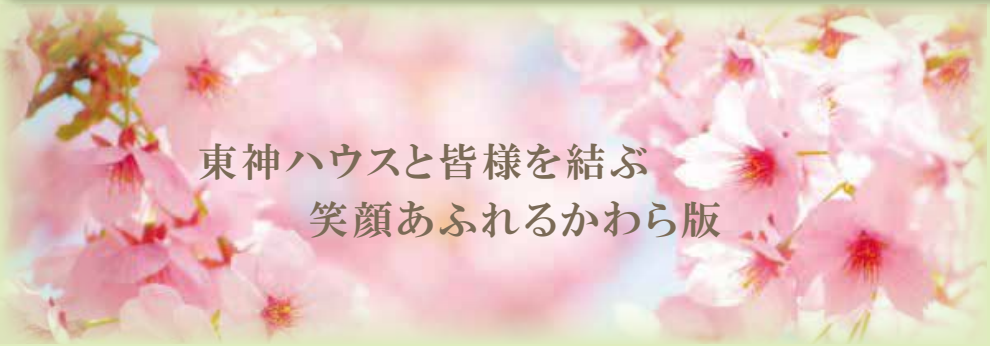
TOSHIN

東神ハウス便り Vo.1

笑顔満庭 [egao-mantei]

4月号 APRIL

2017.4.10 発行



TOSHIN
東神ハウス住設株式会社
相模原市南区麻溝台 6-1-20
042-745-8951

今月の出題　こだわりの文具

2級建築士
1級エクステリアプランナー　愛犬家住宅コーディネーター
福祉住環境コーディネーター　エクステリアマイスター
ガーデンルームコンシェルジュ
代表　鈴木　康宏

開花便りが北上するこの季節に文具売り場を覗くのが大好きです。4月始まりの手帳や、色とりどりのペンたちに感じるワクワクは、学生時代が遠くなっても変わりません。

長くなったキャリアの中で、使う文具も洗練されてきました。サラサラとした書き味のボールペンと、打合せや現場調査で重宝する消せるボールペンは、共に植栽を描ける緑が入った4色。手描きの図面に着色するコピックマーカーの彩りも眺めるだけで楽しい。また礼状に一言入れる際はこだわりの万年筆で。

図面の着色に使う「コピック」と、書き味最高のボールペンを目的に合わせて使い分け。

そして、ここ数年来愛用しているのがアクションプランナーという手帳です。時間を面で捉えるという発想のこの手帳、縦型の時間軸は予定に関わる移動時間も把握出来、すき間時間もビジュアルでわかる優れもの。仕事だけでなく、プライベートの予定もどんどん書き込んで、自分を自分で予約するのが楽しくなります。

愛用の4色ペンで色分けすれば、外出か社内での予定かも一目でわかり、今の自分にピッタリはまるお気に入り。この手帳に出会ってから、他の手帳を探すことが無くなりました。

これからもこの手帳に、東神ハウスのお客様と、たくさんのご縁の予約が入りますように。

愛用の手帳「アクションプランナー」
予定がひと目でわかります。

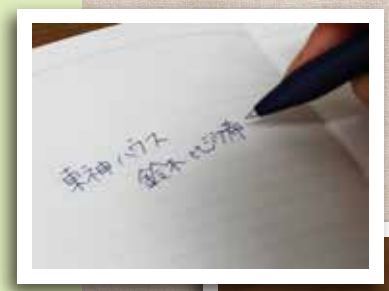
事務担当　鈴木　比沙希

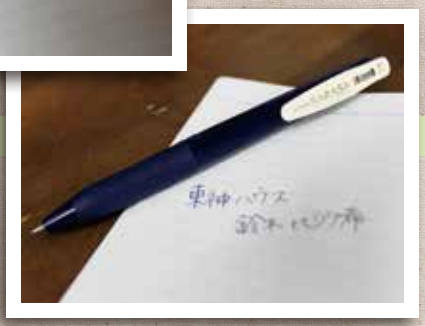
こんにちは！東神ハウス最年少メンバーの鈴木です。今回のテーマは「こだわりの文具」というわけですが、私はペンを選ぶにあたってのこだわりについてお話ししたいと思います。

私は筆圧が濃いので、細字のペンだと先を潰してしまったり、紙に穴を開けてしまったりするので、まず細字ペンはあまり選びません。なので太字の物を選ぶのですが、太字のペンはインクが乾きにくく、書いているうちに手で擦ってインクを伸ばしてしまいがちです。太字でインクがすぐ乾くペン…。そんな都合の良い物ある訳ないか…と、昔はそう思っていましたが、最近はコンビニで気軽にそんなペンが買えてしまうのですね！

サラサというゼブラのペンなのですが、こちらのペンは筆圧が濃い私でも紙に引っかかる事無く使えて、修正テープの上から書いてもすぐに乾くという優れもの。ストレス無く使えてとても重宝しています。

ぜひお試しあれ。





いかにも良く書けそうな名前のゼブラのボールペン「サラサ」。

経理担当　和田　晴子

文具という言葉でまず思い浮かんだのは、自分は子供の頃から文房具屋さんが好きだったということです。行くといつまでも飽きずに見ていた覚えがあります。そこには独特の匂いもありました。「学生時代」という曲の歌詞に「ノートとインクの匂い」とありますが、それかもしれません。

さて、今は特にこだわりの文具はありません。過去を振り返ってみると、中学生の頃、（昭和三十年代）誕生日にもらった万年筆かなと思います。ペン先が18金でできていて、書く程に馴染んでいき大事に使っていました。

いつの頃からか使わなくなり全く忘れていましたが、つい最近、友人から万年筆文字がとても美しいハガキが届き、改めてその良さを知らされたのです。内容は礼状でしたが、想いが伝わり、何か温かい気持ちになりました。

今は万年筆を持っていないのですが、この機会に購入して使ってみようと考えているところです。

事務担当　萬澤　琴美

こだわりの文具と聞かれて、一番に思い付くのは、シャープペンシルです。これは、私が学生時代に恩師に薦められたもので、ステッドラー社製。当時、（かれこれ二十数年前になりますが…）千円から千五百円位したと思います。学生のお財布にはかなり高額でしたが、一生使えると言われて思い切って購入。今でも最前線で活躍してくれています。

なかでもこだわりは、0.7㎜の「芯」。そして、2Bという濃さ。これは、太すぎず細すぎず、紙に食い込まず、まるで鉛筆のような書き心地で具合がいいのです。趣味の数独も、何度も書いたり消したりするため、紙に優しいこシャーペンがないと始まりません。鉛筆型の消しゴムとセットで、私の大事な相棒です。

今では社名も擦り切れて消えてしまっていますが、これからも、ずっと大切にしていきたいと思います。

数独のほか、クロスワードでも活躍中。

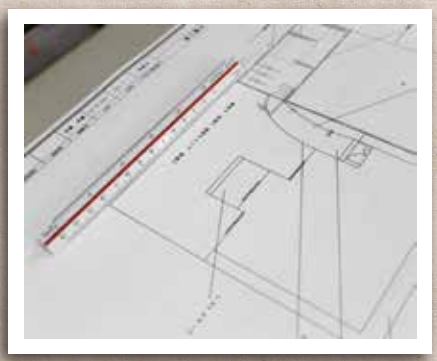
インテリアコーディネーター
エクステリアプランナー　増改築相談員

隅谷　敏弘

みなさん「サンスケ」ってご存知ですか？
建築に携わる人なら、なにを当たり前のことをと思われますよね。でも、そうでない方は、ひょっとして「なんだそれは、人の名前？」なんて思われる方もいるかも…。
「サンスケ」は図面の寸法を測るときに使う縮尺定規「三角スケール」のことなんです。
僕は仕事柄、15cmのポケットサイズのサンスケは常に携帯、30cmサイズのものももちろん持っています。サンスケは寸法の安定性が欠かせないので、素材は竹、プラスチック、アルミなどの素材で作られているんですよ。僕はちなみに、ポケットサイズがプラスチック、30cmサイズは竹製です。意外と高いんですよね…。

こちらが「サンスケ」。
三角スケールの略称です。
６種類もの目盛りがある為、
「ロクスケ」でも良さそう？

この仕事は、寸法がとても大事。サンスケは目盛りがきちんと読み取れるよう、いつもきれいにしています。
だから、使い方のこだわりは、サンスケでは線を引かないこと。なぜかというと、汚れたり傷がついて、目盛りを読み間違えてしまう可能性があるからなんです。
道具を大事に使うことが、いい仕事につながるはずですよね。
サンスケには元の図面を縮小・拡大コピーしたものに対応できるものもあります。
ちょっと欲しいかも…。



正確さを要求されるので、道具は大切に。

エクステリアプランナー・ＨＰ担当

立花　香

こんにちは！食べること大好き、犬好きの立花です。
春になると何十年も前の社会人一年生の頃を思い出します。
右も左も分からないまま緊張しっぱなしの毎日。
その中でも社会人初めてで使った筆記具は普通の黒ボールペンでした。
今の時代のようにおしゃれな感じはなく黒いキャップがついた、昔よく見かけたものです。可愛い柄のついたようなボールペンは華美になるからという理由で禁止です。
まだまだ学生気分が抜けきらない社会人なのに、味気ない普通のボールペンって…。
それから月日がたち、今は使いやすくて可愛いものが沢山！
おしゃれになっていますよね。

最近のお気に入りはなんと言ってもジェットストリーム多機能ボールペン。三色または四色ボールペンとシャーペンがセットになっています。
書き味がスムーズ、色とりどり種類も豊富です。
改めて数えてみたらなんと6本も！
しかもほぼピンク。
昔の反動でしょうか。
先日社長に6本あるって話したらすかさず「捨てろよ」と…。
あー、
内緒にしておけばよかった～(>>;

ずらりと並んだピンクの多機能ボールペン
「ジェットストリーム」圧巻です。

今月の News!

快挙！ 2016 LIXIL ガーデンルームコンテストで 施工実績 東京・神奈川第１位！

東神ハウスは 2016 LIXIL ガーデンルーム販売コンテストにおいて、ゴールド賞、ガーデンルーム販売優秀賞受賞を受賞。そして今年はなんと、地区特別賞　神奈川県第１位 !! 更に、東京、神奈川合わせても、施工実績第１位 !! これは本当にスゴイ事なんです！

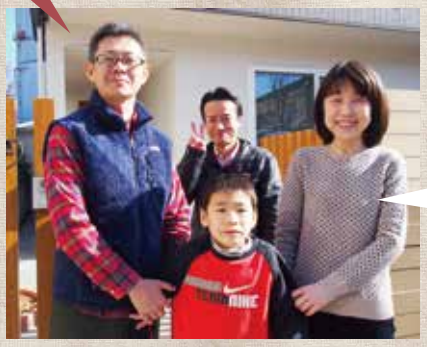
授賞式は新宿のヒルトンホテルで行われ、代表の鈴木が出席。喜びのスピーチを行いました。

当社施工のガーデンルーム

トロフィーと賞状

スピーチ中の当社代表・鈴木康宏

今月の お客様の声



相模原市　W様より

当初から細かく丁寧に対応いただきありがとうございました。プランの提案や、こちら側の度重なる見直しや変更の対応には感謝申し上げます。今後の外構に付いてもお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

届いたお便り

相模原市で新築外構をご依頼のW 様。施工後、お便りをいただきましたのでご紹介します！

Befor

施工前の様子

After

明るい木調でお洒落に変身。

真っ赤なポストが目を惹きます